

令和7年度中間期の学校評価として、生徒・保護者・教職員アンケートをもとに自己評価を行いました。1学期にとりましたアンケート結果や自己評価の結果（裏面）を含めて、今後の取組についてお知らせいたします。今後の取組を進めるにあたっては、ご家庭のご協力をお願いしなければならないものもございます。何卒、本校の教育活動をご理解の上、ご協力を願いいたします。

校訓 正義・勉学・友情

本年度重点項目

本校の教育目標

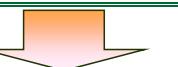
自ら課題を持ち 共に未来を創造し 切り拓いていく人間の育成

目指す生徒像

◇自ら学び、自ら課題を解決しようとする生徒（知育）

◇ルールやモラルを大切にして誰とでも助け合える生徒（德育）

◇心と体の健康を大切にして自らを成長させようとする生徒（体育）



①主体的に学ぶ生徒の育成、身に付けた学力を発揮する生徒の育成

②自己管理能力、自分で自分をコントロールするための凡事徹底

③行事や集会等を活用した生徒会活動の充実

④家庭・地域・関係機関等の連携による生徒の健全育成の推進

①【主体的に学ぶ生徒の育成、身に付けた学力を発揮する生徒の育成】

『学ぶ喜びや達成感が持てる「わかる授業」』、『生徒と共にくる課題づくり』、『能動的な学習の実践』、『計画的な校内研修』、『家庭学習の習慣化』、『一人一台端末の活用』を重点に取り組んでいます。

○昨年よりさらに「授業がわかる」と答えた生徒の割合が高くなっています。クロームブックを利用した「振り返りの記入」や「eライブラリ」の活用などの共通実践が「わかる授業」につながっています。
○家庭学習については、家で宿題に取り組む生徒の割合が昨年度と比較して大きく上昇しました。点検方法を見直し、家庭学習チェック表を各学年で共通のツールとして取り入れたことで効果が表れました。
△家で学習に取り組む生徒が増えている一方で、宿題以外の学習に取り組む生徒の割合が減少していることがわかりました。宿題以外の学習への必要感の低下が懸念されます。

《改善策》

◇将来の目標や進路を意識させる機会を増やし、必要感を持たせていきたいです。今年度は校内のコンテストや各種検定のお知らせも早めに案内し、計画的に学習が進められるようにします。また、必須の宿題とは別に、自分で進んで取り組めるツールとしてeライブラリの活用を推進していきます。

③【行事や集会等を活用した生徒会活動の充実】

『話し合い活動の充実（討議と決定）』、『振り返り活動の充実（自己評価）』の計画的な設定による自主性や自治能力の育成を重点に取り組んでいます。

○生徒主体による生徒集会を進めてきたことで、積極的に行事に関わろうという意識が高まっています。昨年度の反省を踏まえ、今年度から原稿をしっかり準備することや事前に発表の内容を確認するという取組を共通理解して実践できたことが結果につながっています。
△1学期は計画段階のため外部へ行く機会が少なく、体験活動の充実やふるさと学習の推進は十分に行うことができなかった。2学期以降は、実際に体験活動を行う機会を増やしていく予定です。

《改善策》

◇2学期も生徒主体の集荷や行事となるように、意図的に教師側の方で準備を進めていきます。特に2学期には体育祭・文化祭などの大きな行事があるため、生徒が活躍して達成感や充実感を感じられる行事になるように、準備段階から主体的に関わることができる機会を増やしていきます。

②【自己管理能力、自分で自分をコントロールするための凡事徹底】

『時間を守る』、『掃除』、『あいさつ』の徹底を重点に取り組んでいます。

○重点としてきた「時間を守る」・「黙道清掃」・「あいさつ」の取組については、教師、生徒ともに肯定的な回答が高い結果となりました。
△一方で決めた時刻に学習できない生徒が3割以上いることがわかりました。特に家庭学習の開始時刻が定まっていない生徒の多くは、就寝時刻も定まっていない傾向が見られました。
△授業の最初と最後の挨拶は、できている生徒の割合は高い傾向ですが、日常的な挨拶は、声の大きさや気持ちなどまだまだ十分とは言えない状況です。

《改善策》

◇3点固定の大切さを呼びかけるとともに23時よりも早い時刻に就寝できるように指導していきます。家庭学習強化週間の際に、学習時間だけでなく、学習開始時刻も意識するよう呼びかけます。
◇あいさつに関して、2学期中に生活委員会を中心に生徒同士での呼び掛けを推進していく予定です。
◇ネット利用に関する講習を行うなど、利用の弊害を保護者・生徒で学ぶ機会を設ける予定です。

④【家庭・地域・関係機関との連携による生徒の健全育成の推進】

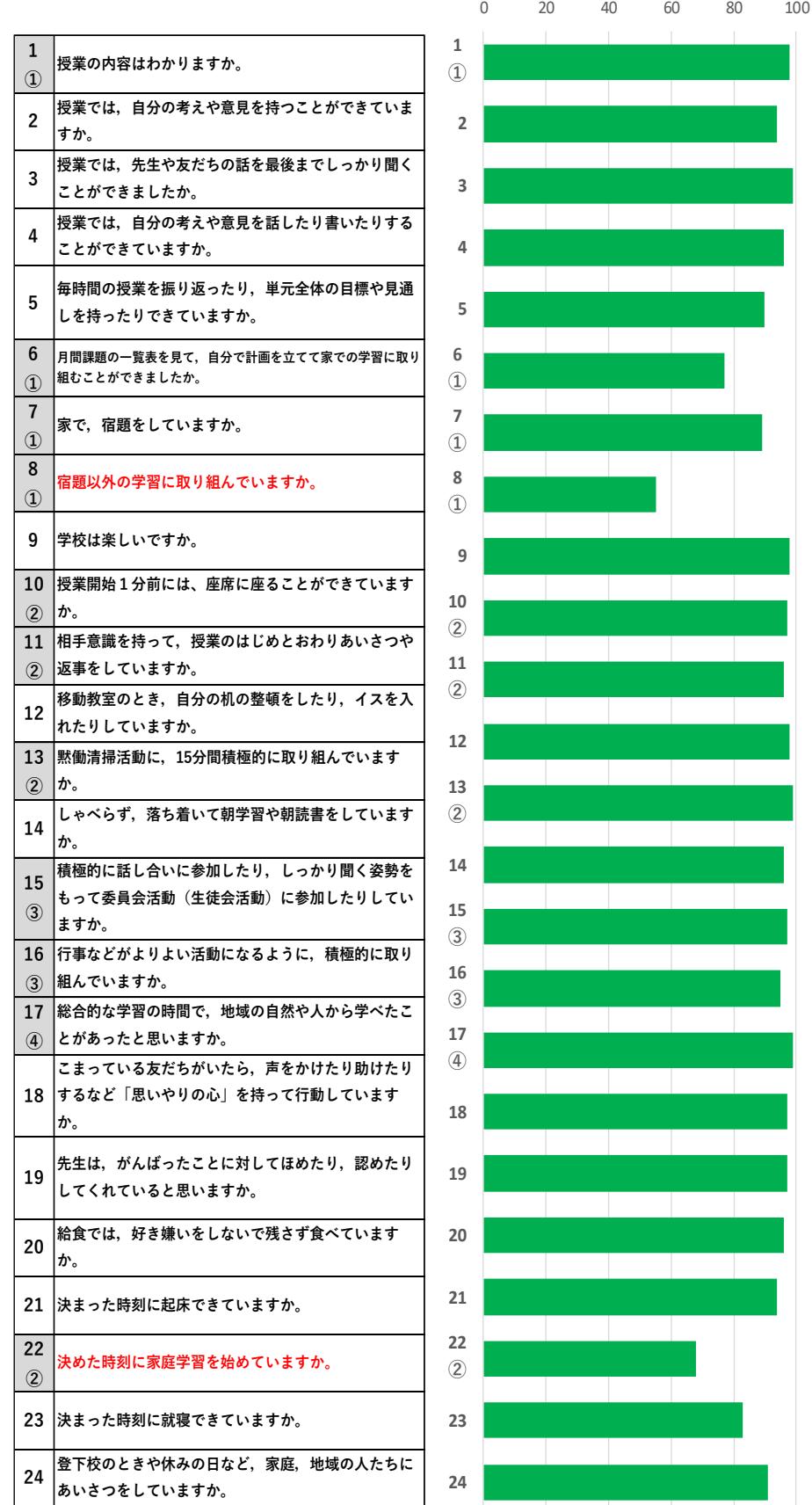
『校区小学校との連携強化と小中連絡協議会の充実』、『地域づくりを題材とした「SuZuSoZo」の充実』を重点に取り組んでいます。

○「子どもが主役になる授業づくり」をテーマに、子どもの実態を踏まえた取組を小中連携して効果的に実践してきた。そのことが、肯定的な評価の大幅な上昇ということにつながっている。
○情報発信に関する項目（教ア4-1・保ア12）においても全体的に肯定的な意見が多く、各種お便りやホームページなど学校の様子がうまく発信されていることが伺えます。また今年度は、保護者連絡用アプリ「t e t o r u」を取り入れ、全職員で情報が共有しながら、情報の一括配信や欠席連絡ができました。
△総合的な学習の時間における高校との協働については、1学期間中は課題を見つける時期となるため、飯田高校と連携した取組は実施できませんでした。

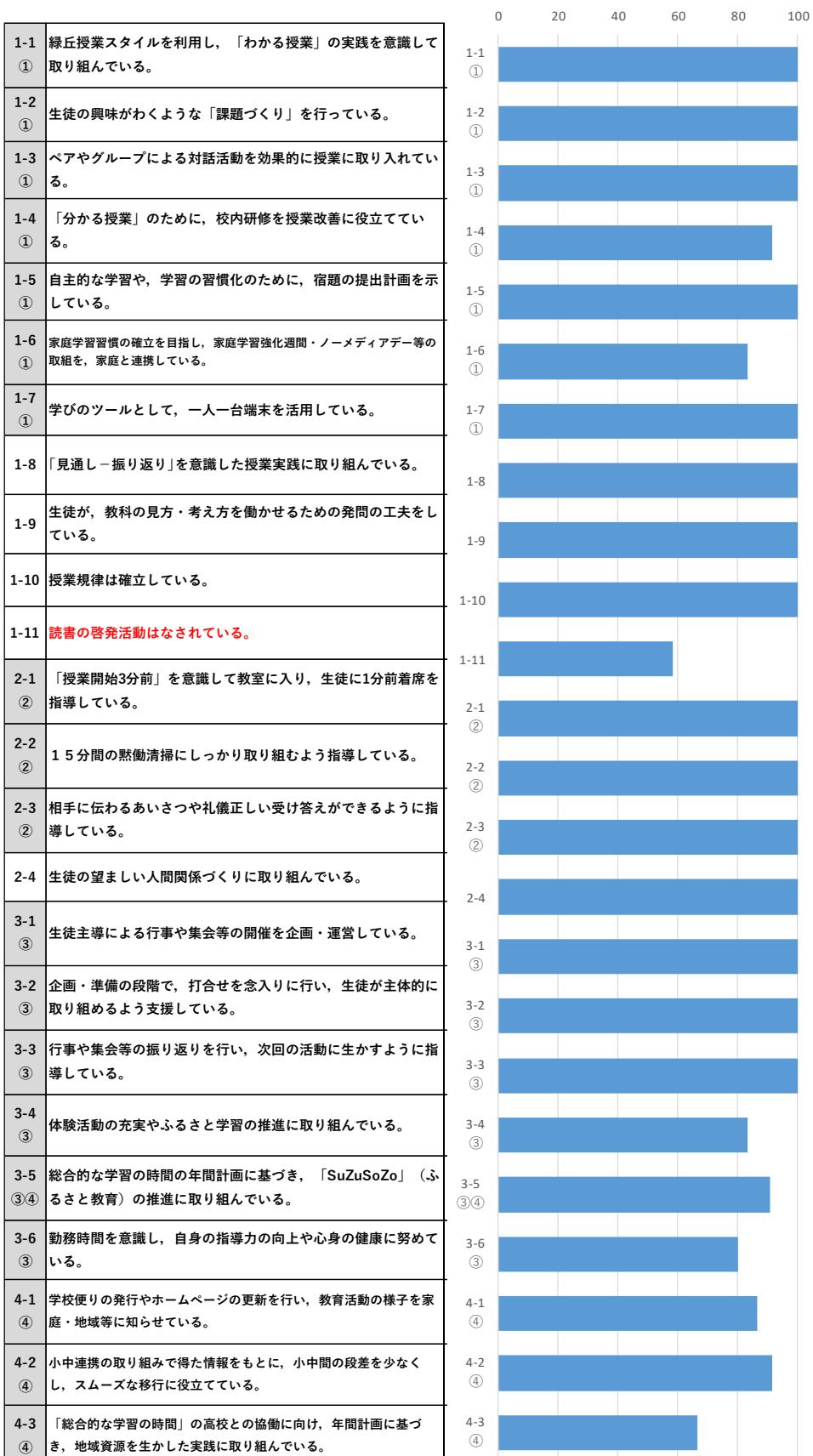
《改善策》

◇2学期に高校が行う「ゆめかなプロジェクト」発表会に全校生徒で参加し、連携を図っていきます。
◇2学期以降も地域とのつながりを深めるために、学校行事に招待したり、仮設住宅に訪問したりする計画でしています。その際、コミュニティスクールを効果的に活用し連携を図る予定です。

生徒アンケート結果



教職員アンケート結果



保護者アンケート結果



・項目番号下の○で囲んだ数字は、本年度の重点項目の番号。項目の網掛けは、重点項目の指標として活用したアンケート項目になっています。
・朱書きの項目は、指導・改善を要する内容と捉え、速やかに改善策を考え対応していきます。

学校関係者評価委員からいただいた感想や助言

- 家庭学習に取り組む生徒の割合が大幅に上昇している事がすばらしいです。学校全体で学習意欲が高まっていると思うので継続してほしいです。
- 学校研究で取り組んでいる「授業の振り返り」は、学びの自覚化を促すために有効だと感じました。
- 宿題のみの提出で満足している場合があるので、自分で取り組める課題をどう見出すのか継続して指導していく必要がある。
- 夜11時以降に就寝する生徒は家庭学習をあまりしないというのは納得です。帰宅後、自宅での時間のほとんどがスマホやゲームに奪われていると思います。
- 家庭学習については小学校でも課題があります。クラブ活動や習い事など様々な活動に取り組む児童が増えたからだと考えています。時間をどのように使って家庭学習に取り組むのかについて、子ども自身が質と量を考え、計画的に取り組めるような指導が必要だと感じています。
- 時間を守ることは、生徒との信頼関係を築く上で重要だと思いました。就寝時刻と挨拶は、小学校も課題になっているので、うまく中学校に引き継ぎできるように手立てをしていきたいです。
- 生徒主導の企画、運営となるよう先生方が努めている様子が参観の度に伝わってきます。
- 先生方が、保護者や地域の声を真摯に受け止め、丁寧に対応していることが素晴らしいと思いました。児童・生徒、家庭環境は多様化していると思いますが、保護者の満足度の高さから先生方の日々の指導が行き届いていることが分かりました。
- 体育祭や文化祭に地域の人を呼び込む生徒の働きかけは、とても大切だと思う。地域の集会所や公民館に出かけたり、直接電話をかけたりする活動を今後も継続していけば良いと思う。